

沖縄県立北部病院 入院セット事業提供業務仕様書 (案2-1)

1. 事業名

「沖縄県立北部病院 入院セット事業」

2. 概要

「入院セット事業」とは、入院する患者に対して、入院療養に必要なバスタオルや病衣等の日用品、歯ブラシやシャンプー、ティッシュといった衛生用品を提供するサービスである。

沖縄県立北部病院（以下「当院」という。）にて行政財産貸付契約として本事業を行わせるにあたり、サービスの条件および費用のあり方などの基本的な事項を本仕様書で定めるものである。ただし、行政財産貸付契約時及び行政財産貸付契約締結後において、当院と事業者の協議が整った場合、本仕様書の一部を変更できるものとする。

3. 業務概要

事業者は、当院が指定する建物の一角において、協議のうえで事業運営に必要な設備等の整備を行い、入院患者およびその家族に対して、入院に必要な日用品（衣類やタオル等については洗濯サービス付きとする）や衛生用品等を「入院セット」として提供し、サービスの対価となる料金を日額で利用した入院患者に請求する。

サービスに関する請求書発行と入金確認は事業者が行う。

4. 事業実施場所および行政財産使用許可期間

(1) 沖縄県立北部病院 (沖縄県名護市大中二丁目12番3号)

【参考】稼働病床数244床

一日平均新規入院患者数 15 (令和6年度実績)

(2) 貸付期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日とする。ただし、沖縄県立北部病院が貸付物件を公用又は公共用に供するため必要が生じたとき、当該県有施設を廃止するとき、設置事業者（借受者）が貸付条件のいずれかに違反する行為を行ったとき、その他沖縄県立北部病院が必要と認めるときは、使用許可を解除することがあります。

5. 貸付を行う具体的な場所

上記3の事業を実施する具体的な場所については当院と事業者の協議により決定することとするが、概ね次に掲げる場所を使用許可する予定である。

(1) 在庫品置き場・・・下に掲げる病棟の一角とする。極力最小限のスペースで留めること。

2階病棟、3階西病棟、3階東病棟、4階西病棟、4階東病棟、5階西病棟、5階東病棟

※極力最小限のスペースに留めること

(2) 入院セット用中央倉庫設置場所・・・地下1回物品管理倉庫内

(3) 受付・・・外来ホール側院内処方コーナー付近

6. 事業内容

(1) 実施体制

- ① 遅滞なく、安定したサービスを供給できる体制を構築すること。
- ② 事後開始前にあたっては、業務フロー等の資料を当院に提出するとともに、当院職員へ事業説明会を行い、円滑な事業運営を図ること。サービス開始初期における安定運用を図るため、当院職員と綿密に打ち合わせを行える体制を構築すること。また、事業開始後においても実情を踏まえて当院職員の要望を取り入れるなど、サービスの充実に努めること。
- ③ サービス提供開始にあたっては利用者への周知を十分に行い、円滑な導入に努めること。
- ④ 4連休以上の休日がある場合、連休期間中に受付駐在員を半日若しくは1日以上勤務すること。

(2) 入院セットの質の確保

入院セットは常に清潔なものを所定の場所へ保管し、当院職員が利用者の申出又は当院職員の判断により必要に応じて利用者へ提供することができる数量が常時確保されていること。

(3) 利用申込書の管理方法

利用者またはその家族から受け取る利用申込書は事業者にて管理することとし、第三者に受付業務を再委託する際は、当院の許可を得ること。また、委託先の評価・指導を適切に行うこと。申込書の回収については、当院職員と十分な調整を図り円滑に行うこと。なお、利用者およびその家族の個人情報保護については、病院事業局における個人情報取扱事務委託等基準および事業者の個人情報保護方針に従い、適正に取り扱うこと。

(4) 事業運営体制の十分な確保

事業者職員は、月2回（本事業導入当初においては週1回）程度、定期的に事業運営に問題が生じていないか現場確認を行うこと。天候不良や災害、新興感染症の流行時においても事業が継続できる体制を構築すること。なおここに記述する「事業者職員」とは、本事業運営に十分な知識を有し、本事業に関わるあらゆる問題事象について解決能力を有し、臨機応変な対応が可能な者であること。

(5) 利用料金の請求および回収

本事業に際しては利用者個人と事業者が契約を行い、利用終了時または複数月にまたがる場合は適切な時期に精算日を設定し、事業者が利用者へ直接利用料金を請求すること。なお、入院費用との混同を避けるため、当院会計窓口や精算機にて本事業に係る利用料金は取り扱わないこととする。また、盗難や紛失リスクを踏まえて事業者による利用料の現金回収は行わないこと。利用料金の請求に関してはコンビニエンスストア決済等の払込取扱書等を契約相手に郵送するか、または口座振替により回収すること。万が一、本件にかかる未収金が発生しても当院は一切関知しない。

(6) 利用者からの問合せおよび苦情対応

事業者は利用者や家族からの問合せや苦情に関して、当院運営に影響を与えることが無いよう優しく丁寧に誠意をもって臨機応変に対応すること。なお、病院運営に重大な影響を与える用件が発生した場合は、当院担当者にその内容を報告すること。

(7) その他

- ① 本事業運営で知り得た機密情報は、履行期間中および履行期間終了後においても第三者へ漏洩してはならない。
- ② 事業者は、利用状況について毎月報告書を当院へ提出すること。また当院が求めたときは本件に係る収支状況報告書等の必要な資料をすみやかに提出すること。
- ③ 本使用書に定めのない事項または本仕様書により難しい事情が生じたときは、当院と事業者が協議のうえで決定することとする。

7. 業務内容の詳細

利用者の利便性を確保するため、利用者が利用しやすい方法を提案すること。

(1) 運用形態

- ① 利用者に対するシステムの概略説明は、入院時説明のおりに事業者の職員が行う。
利用者の説明にあたっては利用者がシステムを理解しやすく、料金体系が明瞭となる資料を提供すること。
- ② 利用者の物品提供は、当院職員が協力する。
- ③ 利用日数については利用者の看護状況等を判断し、当院職員にて事業者から提供された利用日数管理票もしくは電子機器等に記入する。
- ④ 物品の利用数量については当院職員は適切な使用量で運用にあたるが、基本的には当院職員が在庫調整等の管理には当たらないこととする。なお物品調達と円滑な運営の観点から、リネン類および紙おむつは、当院取引業者を活用してもよいこととする。
- ⑤ 事業者は、利用契約書・申込用の電子機器等を当院内に用意し、随時回収、確認を行うこと。また申込用の管理機器等を用いる場合は、申込のみならず申込者の一覧が随時確認できるなど、運用面の効率化を図ること。
- ⑥ 入院セットを運用している間であっても、提供セット構成に関しては当院との協議のうえ内容および価格等の変更が可能であること。
- ⑦ 入院セットの運用開始に際しては事前に当該職員に対して事前説明を実施すること。導入初期にあつては安定運用を図るため必要に応じてミーティングや注意事項の周知を行うこと。
- ⑧ 貸付業者が変更となる場合は、現貸付業者と調整し貸付開始日より途切れることなくサービスの提供を行うこと。

(2) 入院用品管理

- ① 入院用品(=本件サービスにより提供されることとなるすべての物品)は、看護業務の運営上、必要十分な量が確保され、適正な量を配付しなければならない。そのため事業者はこれらの点に十分配慮するとともに、当院職員に対し真摯に協力すること。また利用者に提供する入院用品については、当院職員の意見を反映したものであるとともに、必要に応じて入院用品のリニューアルに最大限努力すること。
- ② 事業者は、本事業の運営上、必要となる物品の発注、納品及び使用済みリネン類の回収、その他必要な物品の管理を行うこと。
- ③ 事業者は各入院用品の在庫管理を随時行い、欠品等が生じることがないようにすること。また棚卸についても、事業者の責任において行うこと。
- ④ 各入院用品の納品は原則平日時間内とし、受領にあたっては事業者が検品を行い、汚染・破損等の物品を利用者へ提供することがないように十分留意すること。

(3) リネン類管理体制

- ① 病衣類に関しては「医療関連サービスマーク」を取得している企業の資材を用いること。病衣類以外のリネン類を追加する際も、衛生面や安全面の観点から「医療関連サービスマーク」を取得している企業が所有、管理する資材を用いること。
また、利用後の病衣類で血液等の体液や排泄物による汚れが付着した物の取扱いについては、医療安全管理の知識を有する者が適切に対応すること。
- ② リネン類の回収交換回数は、週3回以上とすることとし、「医療法の一部を改正する法律の一部の施行について」(平成5年2月15日健政発第98号厚生省健康政策局長通知)の第3及び「病院診療所等の業務委託について」(平成5年2月15日指第14号厚生省健康政策局指導課長通知)を遵守させ、適正に処理するものとする。

(4) 損害賠償

入院用品類の紛失、取り扱い上の過失による損害、その他事業者の責により生じた商品の損害については、当院の責によることが明らかな場合を除き、当院はその責を負わない。また利用者が使用する物品等に関わる事故及び利用者の個人情報の流出等に備え、実施事業者は生産物に関する損害賠償保険及び情報漏えいに関する損害賠償保険に加入すること。

(5) 経費区分 (一部再掲)

事業者は以下の費用および備品等を負担すること。

- ① 物品管理に要する棚や台車等の備品、受付ブース等で使用する什器及び備品類
- ② 利用者への説明資料、料金表等
- ③ 利用契約、日数管理等、運営管理を目的とした備品類
- ④ システム導入に係る各種改修費用
- ⑤ 行政財産使用期間の満了または解除に伴う物品の撤去、設備の原状回復費用
- ⑥ 貸与品の業務上の全損・破損に伴う、修理・交換等に必要な費用
- ⑦ 当院の判断により緊急の入院があった患者に入院用品を一時的に提供し、事後において利用申込みを拒否された場合の入院用品に関する費用
- ⑧ 光熱水費等

(6) 入院用品の構成

- ① 入院セット事業を運営するうえで、入院用品の品目に関しては、特に注意して当院の意向に沿うこと。

また、当院が事業開始当初に希望する入院用品については別紙に基づき同等以上の入院用品を提供すること。なお、当院より指定のある品目に関してはそれに従うこと。

- ② 必要に応じて入院用品の品目の見直しに対応すること。
- ③ 病衣類、タオル類については、洗濯を含むこと。
- ④ 日用品の内容、紙おむつセットの内容変更には、柔軟に対応すること。

1. 概要

この別紙は、緒謹話県立北部病医院入院セット事業 仕様書「8 業務内容の詳細（6）入院用品の構成」において定めている『当院が事業開始当初に希望する入院用品』について、当院が要求する基本的な事項を定めたものである。

ただし、契約時および契約締結後において、当院と事業者の協議が整った場合、品目の全部ま

2. 入院用品の構成および使用量の目安

Aプラン（タオルセット） 円				
分類	商品名	使用量の目安 ※1	備考	実績※2
リネン類	バスタオル	週におよそ4枚		37人/月
	フェイスタオル	1日におよそ1枚		

Bプラン（病衣・タオルセット） 円				
分類	商品名	使用量の目安 ※1	備考	実績※2
リネン類	バスタオル	週におよそ3枚		3,500人/月
	フェイスタオル	1日におよそ1枚		
	病衣（浴衣タイプ、上下パジャマタイプ、マジック着脱タイプ）	週におよそ7枚	選択制とする。	

Cプラン（衣類セット） 円				
分類	商品名	使用量の目安 ※1	備考	実績※2
リネン類	病衣（浴衣タイプ、上下パジャマタイプ、マジック着脱タイプ）	週におよそ7枚	選択制とする。	1,495人/月

Dプラン（衣類セット・オプション無し） ※3 円				
分類	商品名	使用量の目安 ※1	備考	実績
リネン類	病衣（浴衣タイプ、上下パジャマタイプ、マジック着脱タイプ）	週におよそ7枚	選択制とする。	-

※1 リネン類の使用量は目安であり、利用者の容態の変化等で追加使用した場合も、料金の追加請求は行わないものとする。

※2 実績は、R7.5～7.11の延利用人数の平均値。

※3 Dプランについては必須としないが、評価の対象とする。

3. 紙おむつセットの構成および使用量の目安

紙おむつ①プラン（終日おむつ使用） 円				
分類	商品名	使用量の目安 ※1	備考	実績※2
紙おむつ	横漏れ安心テープ止め（S～LL）	1日およそ1枚	吸収量：600cc～750cc	1,253人/月
	安心さらさらパット	1日およそ2枚	吸収量：550ccと同等以上	
	一晩中安心スキンコンディション	1日におよそ1枚	吸収量：800ccと同等以上	

紙おむつ②プラン（日中パンツ） 円				
分類	商品名	使用量の目安 ※1	備考	実績※2
紙おむつ	リハビリ用紙パンツ	1日およそ1枚	吸収量：300ccと同等以上	340人/月
	簡易装置パット	1日およそ2枚	吸収量：300ccと同等以上	

紙おむつ③プラン（膀胱留置カテーテル挿入中） 円				
分類	商品名	使用量の目安 ※1	備考	実績※2
紙おむつ	横漏れ安心テープ止め（S～LL）	1日およそ1枚	吸収量：600cc～750ccと同等以上	345人/月
	安心さらさらパット	1日およそ2枚	吸収量：550ccと同等以上	

4. 日常生活用品（オプション）

- （１） 各プラン（Dプランを除く）の利用者に対して、以下の日用品および口腔ケア用品（以下「消耗品」という。）を無償で提供すること。
- （２） 消耗品は利用者の希望に応じて配付できるよう、病院指定の場所に常に一定の数量を確保しておくこと。
- （３） 消耗品は利用者の希望・もしくは当院職員の判断で定期交換する。また、使用中であっても劣化や破損の場合は随時交換可能であること。
- （４） 消耗品に関しては、品質の悪いものは入れてはならない。以下の品目と同等品を用意すること。

分類	商品名	使用量の目安(1ヶ月)	備考
日用品	カラーコップ	360個	
	割り箸	4,000本	
	スプーン	1,040本	必要な患者のみ
	BOXティッシュ	760個	
	ウェットティッシュ	520個	
	食事用エプロン	1,200枚	必要な患者のみ
	ヘアブラシ	20本	必要な患者のみ
	イヤホン	40個	必要な患者のみ
	リンスインシャンプー	12本	シャワー室にて共用 (個室はミニボトルで持ち帰り可)
	ボディシャンプー	20本	シャワー室にて共用 (個室はミニボトルで持ち帰り可)
	歯ブラシ	360本	
	歯みがき粉	370個	
	保湿剤	60個	必要な患者のみ
	マスク	2,520枚	個包装のもの
	手足用カバー	適宜	必要な患者のみ まもりたい9、まもりたい12